

**輝け！ 一小っ子 No.7**

発行者 校長 上村哲也

**人権集中学習「令和5年11月1日(水)～11月29日(水)」 特集号**

昭和23年(1948年)12月10日の国連総会で「世界人権宣言」が採択され、国連はこれを記念して毎年12月10日を「人権デー」としています。国内では、毎年12月4日から12月10日までの1週間を「人権週間」として、人権擁護活動を推進するための行事が行われました。

第一小学校では、11月に人権集中学習を行いました。その様子をご紹介します。

**○校長講話 11月1日(水) 朝会で**

今日はある言葉を手がかりとして、人権感覚を磨いてほしいと思います。まずはこの言葉、「ばか」。この言葉には、幾つかの意味があります。相手に対する思いやり、親しみ・愛情の気持ちを込めて使うこともあります。でも、友だちと喧嘩をした時などに言ってしまう「ばか」は、「能力が低く、愚かな人だ」という意味を表し、相手をののしる、ひどい悪口になってしまいます・・・。

このような問題点を指摘しながら、言葉の大切さについて考えてみました。言葉は友だちとよい関係を築く上でとても大切です。みんなが明るく楽しい学校生活を送るために、言葉の上手な使い手になりましょうと呼びかけました。

※詳しくは一小HPをご覧ください→

**○人権に関するビデオ視聴と話し合い 11月1日(水)～11月11日(土)の間**

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1年生 「ねずみくんのきもち」   | 4年生 「プレゼント」    |
| 2年生 「みんな友だち」      | 5年生 「いじめと戦おう！」 |
| 3年生 「いじめはゼツタイわるい」 | 6年生 「知らんぷり」    |

**○人権に関する標語、作文、ポスターの募集****○人権集会(オンライン) 11月29日(水) 朝行事で**

募集した人権に関する作品の中から代表作品に選ばれた児童が発表しました。(録画)

**<代表作品の紹介> 人権ポスター**

- |       |                          |
|-------|--------------------------|
| 1年 TA | みんなと仲よくできるようにという気持ちを込めて  |
| 3年 RH | みんなのよいところを知って分かち合っているといい |
| 5年 IS | 音楽でみんなもいい気持ちになってほしい      |



人権標語	4年 NA	世界中で	かがやく「命」	守ろうよ
	5年 HH	立ちむかえ	自分の意思を	行動に
	6年 OA	多様性	一人一人が	ちがっていい

人権作文

「みんな友だち」 2年 HN



わたしは二年生になってから、いつも友だちとなかよくしていました。でも、ときどきけんかもしました。けれどわたしは、一年生のとくとくらべたら、すぐに  
なかなおりができるようになったと思っています。

わたしは、「みんな友だち」のDVDを見て、みんなできることと、できないことがあるんだなと思いました。そして、自分ができることは、あいてにはうらやましいと思われているのかもしれないと思いました。



わたしは、もっと友だちとなかよくなりたいです。けれど、たくさん友だちを作るには、やさしいだけじゃだめだと感じました。なぜかという、やさしい人でもけんかしてなかなおりができなかつたらかなしいし、やさしい人でもわるいことをしたらだめだと思ったからです。わたしは、どうしたら思いやりのある人げんになれるか、考えました。わたしは、「心がだいじなのかな。」と思って、心をきれいにしようと思いました。

これからは、心をきれいにして、思いやりがある人になりたいです。ことばをつかうときはよく考えてから言おうと思います。これからも、ずっと友だちとなかよくしたいです。

「一言の悪口はいじめになる」 4年 HR

一言だけの悪口で、いじめてないつもりでも、いじめになってしまうときがあると思います。そう思った理由は、悪口を言った人は、自分ではおもしろがっていじめではないと思ってやっても、悪口を言われた相手はすごく悲しい思いをしていたり、悪口を何回もいわれていると、どんどんつらくなって、家にずっととじこもってしまったり、体調が悪くなってしまったりするかもしれないからです。

悪口以外にも、仲間外れにしたり、無ししたりすることも、相手は悲しい思いをすることになります。自分からしたら、いじめじゃないと思っても、相手が少しでも悲しいと思ったり、いやな思いをしたりしたら、いじめになってしまうと思ったからです。

人権についてのDVDでは、一人の女の子が友達のたんじょう日会に行くことになりました。学校では、その友達が好きなお店でプレゼントを買うことになったけれど、その事をお母さんにいうと、「手作りのプレゼントなら気持ちがこもって良いんじゃない。」と言われ、友達へのプレゼントは手作りの物になり、たんじょうび会の際にプレゼントを友達にわたすと、「あのお店で売っているものが良かった。」と言って、その後も女の子は、学校でいじめをされてしまいました。それを見て、女の子はすごくかわいそうに思いました。そして、いじめられている子を見ているだけなのも、だめだと思いました。なぜかと言うと、だまって見ていないで、なぐさめてあげたり、相談を受けてあげたりしたほうが良いと思ったからです。

※次ページへ続く

校長先生の話では、一言だけで、相手が悲しくなったり、きずつくこともあったり、一言だけでうれしくなることがあると、話していました。それを聞いて、一言一言が大事だと思いました。

今までは、言ったらどうなるかを考えないで家族と話すときがあったけど、この人権の勉強をしてから、言ったらどうなるかを考えてから話す方が良いと思いました。

これからは、友達がいじめられたり、泣かされていたりしたら、なぐさめてあげたり、相談を受けてあげたりしたいと思いました。友達がきずついたり、いやな思いをしたりしないか考えてから友達と話したり、家族と話したりしたいと思いました。

### 「人権学習を通して」 6年 NM

私は今回の人権学習と見たDVDを通して、あらためて人権の大切さ、いじめという行為、そして、たった一つのこと、だれかの人権と心が踏みにじられてしまうことを知りました。

今回見た「知らんぷり」というDVDは、だれかがいじめられていることを見て見ぬふりをしてしまうだけで、いじめている人と同じ立場に立ってしまうことを私達に教えてくれました。

私は、いじめを弱肉強食や食物連鎖のようなことだと思っています。弱い人を強い人がいじめ、周りは強くなるための一歩を踏み出せないから、いじめる側の立場にいつてしまう。そして、いじめる側の人は自分よりもっと強い人にいじめられてしまい、そのストレスをどうにかするために、自分より弱い人をいじめてしまうのだと感じます。

このような、人を不幸にしてしまうことをなくすために、私は、自分だけではなく、周りの人への視野を広げることや、一人一人がいじめられている人を救うために、強くなる必要があります。自分のことで精一杯でも、他人を思う気持ちを忘れずに接すること、そして一人でも多くのいじめられている人を救うために、その人に声をかけたり、先生に知らせたりするなどの方法で、少しでも助けることができるのではないかと考えました。

だれかをいじめから救い出すことは難しいことですが、いじめのない明るい学校にするには必要なことだと学びました。そして、友達との間にいじめを起ささないために、相手の気持ちを考え、行動することが大切だと感じさせられました。

私には大切な友達がたくさんいます。その友達と今の関係を保つために、相手の気持ちを考えることができる人になりたいです。

